

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます (2022年6月3日)

■第7版 第1刷 (2022年3月15日発行) の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第2章-2 術前回診と全身状態の評価					
48	表2-2-8の説明文	緊急手術はこれにEをつける。ASA: American Society of Anesthesiologists (米国麻酔学会) https://www.asahq.org/standards-and-guidelines/asa-physical-status-classification-system ASA Physical Status Classification System. Last Amended: December 13, 2020(original approval: October 15, 2014) より作成.	*妊娠は病気ではないが、出産時の生理状態は非妊娠時と大きく異なるため、合併症のない妊婦はASA IIとする **緊急手術はこれにEをつける。 ASA: American Society of Anesthesiologists (米国麻酔学会) https://www.asahq.org/standards-and-guidelines/asa-physical-status-classification-system ASA Physical Status Classification System. Last Amended: December 13, 2020(original approval: October 15, 2014) より作成.		22/04/15
54	1つ目のmemo内の表の「空けるべき間隔」の列の最終行	1週間 (施設基準に従う)	2週間* (推奨)		22/06/03
54	1つ目のmemoの末尾	2012年からポリオは生ワクチンではなく不活化ワクチンに変わった https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j/249-vaccine/589-atpcs003.html より作成.	2012年からポリオは生ワクチンではなく不活化ワクチンに変わった https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j/249-vaccine/589-atpcs003.html より作成. ※「麻酔・手術を受ける患者さんへのワクチン接種の提言」(日本麻酔科学会、2022年5月2日)より https://anesth.or.jp/img/upload/news/9cae8b8d50e6a6c89ea69bc34a8349f1.pdf		22/06/03
54	2つ目のmemoの4行目以降	・手術日とワクチン接種を数日間(最大で1週間)空けると、術後の発熱などの症状の原因がワクチン接種か手術によるものかの区別がつく ⁶²⁾ ・現状では、確固たるエビデンスは存在しないため施設ごとにワクチン接種後の待機期間を決めている。施設の基準に従うのがよい	・ 待期手術であっても接種後3日目(48時間経過後)に手術は可能:患者が早期の手術治療を望む場合、この期間を目安に手術治療を考慮してもよいと判断する。ただし、①ワクチン接種による発熱などの症状が軽減していることが前提で、②手術侵襲によってはワクチン接種による抗体産生が減少する可能性があることを患者に説明すべきである 「 麻酔・手術を受ける患者さんへのワクチン接種の提言」(日本麻酔科学会、2022年5月2日)より。 https://anesth.or.jp/img/upload/news/9cae8b8d50e6a6c89ea69bc34a8349f1.pdf		22/06/03
第2章-5 術前麻酔科指示					
65	14行目	半減期の長いクロルプロバミドは手術前日に中止	SGLT2阻害薬は手術3日前、ビグアナイド系薬剤は2日前(前々日)から中止		22/05/13
第3章-1 麻酔前の準備					
78	表3-1-1の8行目	12歳以上 13 cm	12歳以上 12 cm		22/04/15